

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ヤギ  
 コード番号 7460 URL <http://www.yaginet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八木 秀夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 南 秀幸

TEL 06-6266-7332

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	55,614	5.6	2,066	27.6	1,950	24.9	870	△2.2
23年3月期第2四半期	52,664	3.5	1,619	38.0	1,561	22.1	890	26.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 562百万円 (17.7%) 23年3月期第2四半期 477百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	103.66	—
23年3月期第2四半期	106.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	51,642	22,799	44.1
23年3月期	50,318	22,615	44.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 22,794百万円 23年3月期 22,611百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	1.1	3,500	3.0	3,400	11.1	1,800	4.4	214.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	10,568,000 株	23年3月期	10,568,000 株
24年3月期2Q	2,168,634 株	23年3月期	2,168,545 株
24年3月期2Q	8,399,417 株	23年3月期2Q	8,399,612 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表規則」に従い作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞や原子力発電所問題に加え、米国・欧州の財政不安による世界的な景気の停滞、急激な円高など厳しい経営環境が続きまして。

繊維業界におきましても、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念が払拭されず、個人消費は一部に回復傾向が見られましたが、依然として力強さを欠き全般的には低調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「NEW YAGI 120」の初年度にあたり、重点施策である「海外市場の開拓」「川下志向」「機能強化」「人材育成と社内インフラの整備」を進めております。原料部門、テキスタイル部門、繊維二次製品部門の各部門におきまして、高付加価値商品の開発、優良取引先との取り組み強化に注力しております。また、生産体制につきましてもチャイナプラスワンの開発や縫製工場の建設・出資などさらなる強化を進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は55,614百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は2,066百万円（前年同期比27.6%増）、経常利益は1,950百万円（前年同期比24.9%増）となりました。特別損失として関係会社出資金評価損262百万円を計上し、四半期純利益は870百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

なお、事業セグメント別の売上高の状況は、以下のとおりであります。

#### [繊維セグメント]

##### <原料部門>

原料部門では、天然繊維分野で綿花相場が急落、綿糸価格も下落し、旺盛であった新興国市場も調整局面に入りました。当期末末では価格は上昇傾向にありますが先行き不透明な状況で推移しております。合成繊維分野でも合繊メーカーによる値上げ実施と東日本大震災による急激な生産調整の影響で厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、優良取引先との取り組み強化により適正価格・適正在庫での対応を進めてまいりました。また、高機能糸の生産効率化によるロスの削減に努めるとともに拡販に注力してまいりました。

この結果、原料部門は売上高9,967百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

##### <テキスタイル部門>

テキスタイル部門では、高騰が続いていた従来までの綿糸価格と、原油高の影響により加工コストが上昇し価格面で苦戦を強いられました。また、本格的に回復しない個人消費を背景とした取引先の生産調整の影響で、販売も厳しい状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、機能素材の開発に努めるなど企画提案力を発揮し拡販を推し進めてまいりました。また主力の販売戦略である「テキスタイル・プロジェクト」では、効率化を図るとともに商品差別化に注力してまいりました。

この結果、テキスタイル部門は売上高8,054百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

##### <繊維二次製品部門>

繊維二次製品部門では、東日本大震災の影響でアパレルメーカーが発注を手控えるなど混乱が見られましたが、想定以上に早く回復基調となりました。とくに全国的な節電対策によりクールビズ関連の商品が好調に推移しました。しかしながら取引先の短納期・低価格の要望が強く採算面で苦戦を強いられております。

このような状況の下、当社グループは、高付加価値商品の開発と川下志向を進展させるとともに経費の削減に取り組み、利益率の向上に努めてまいりました。また、優良取引先との取り組み深耕に注力するとともに、チャイナプラスワンの開発や縫製工場の建設・出資など生産体制のさらなる強化を進めております。

この結果、繊維二次製品部門は売上高36,037百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

#### [不動産セグメント]

当第2四半期連結累計期間における不動産セグメントは売上高147百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,458百万円増加し、42,032百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ133百万円減少し、9,610百万円となりました。これは、時価の下落に伴い投資有価証券の時価評価差額が減少したことが主な要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,247百万円増加し、26,313百万円となりました。これは、短期借入金が増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ107百万円減少し、2,528百万円となりました。これは、投資有価証券の時価評価差額の減少に伴い、繰延税金負債が減少したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ183百万円増加し、22,799百万円となりました。これは、四半期純利益が870百万円計上されたことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想（平成23年10月24日に発表いたしました連結業績予想）から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,870,882	3,208,838
受取手形及び売掛金	29,183,219	30,392,715
有価証券	93,285	73,312
たな卸資産	6,436,902	7,366,965
繰延税金資産	628,428	723,855
その他	578,007	484,284
貸倒引当金	△216,776	△217,874
流動資産合計	40,573,948	42,032,098
固定資産		
有形固定資産	4,054,980	4,045,441
無形固定資産	54,054	39,579
投資その他の資産		
投資有価証券	4,028,240	3,852,628
その他	1,887,607	1,950,264
貸倒引当金	△280,777	△277,615
投資その他の資産合計	5,635,070	5,525,276
固定資産合計	9,744,105	9,610,297
資産合計	50,318,053	51,642,395
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,405,828	14,480,998
短期借入金	6,116,462	6,736,918
未払法人税等	823,879	832,436
引当金	732,501	600,694
その他	2,987,624	3,662,904
流動負債合計	25,066,297	26,313,952
固定負債		
繰延税金負債	274,560	158,524
退職給付引当金	631,309	679,710
その他の引当金	213,014	205,973
その他	1,516,981	1,484,428
固定負債合計	2,635,865	2,528,636
負債合計	27,702,162	28,842,589
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	805,188	805,188
利益剰余金	21,806,113	22,298,782
自己株式	△1,628,495	△1,628,597
株主資本合計	22,070,806	22,563,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	498,886	330,220
繰延ヘッジ損益	106,563	△32,049
為替換算調整勘定	△65,111	△66,613
その他の包括利益累計額合計	540,338	231,556
少数株主持分	4,745	4,876
純資産合計	22,615,891	22,799,806
負債純資産合計	50,318,053	51,642,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	52,664,093	55,614,799
売上原価	45,788,169	48,081,229
売上総利益	6,875,923	7,533,570
販売費及び一般管理費	5,256,353	5,467,527
営業利益	1,619,569	2,066,043
営業外収益		
受取利息	5,644	10,337
受取配当金	77,816	77,549
その他	29,163	28,170
営業外収益合計	112,625	116,057
営業外費用		
支払利息	18,506	22,331
売上割引	47,014	50,041
為替差損	97,953	153,526
その他	7,436	5,918
営業外費用合計	170,911	231,818
経常利益	1,561,283	1,950,282
特別損失		
投資有価証券評価損	37,535	—
関係会社出資金評価損	—	262,055
特別損失合計	37,535	262,055
税金等調整前四半期純利益	1,523,748	1,688,227
法人税等	633,209	817,426
少数株主損益調整前四半期純利益	890,538	870,800
少数株主利益	201	156
四半期純利益	890,337	870,644

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	890,538	870,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△407,149	△168,667
繰延ヘッジ損益	—	△138,613
為替換算調整勘定	△5,773	△1,501
その他の包括利益合計	△412,922	△308,782
四半期包括利益	477,616	562,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	477,412	561,862
少数株主に係る四半期包括利益	203	155



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,523,748	1,688,227
減価償却費	133,695	154,344
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	112,049	△2,064
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30,667	△55,458
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△92,000	△92,000
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△20,430	15,651
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,084	48,401
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△90,071	△23,256
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,537	△7,040
受取利息及び受取配当金	△83,461	△87,887
支払利息	18,506	22,331
関係会社出資金評価損	—	262,055
投資有価証券評価損益 (△は益)	37,535	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△352,675	△1,209,495
固定化債権の増減額 (△は増加)	△209,234	12,145
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,300,190	△930,063
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,315,102	75,170
未払金の増減額 (△は減少)	81,651	453,346
その他	△148,320	103,254
小計	905,786	427,662
利息及び配当金の受取額	83,538	87,724
利息の支払額	△18,604	△22,680
法人税等の支払額	△72,950	△805,272
営業活動によるキャッシュ・フロー	897,769	△312,566
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△108,178	△374,055
定期預金の払戻による収入	48,000	158,000
有価証券の償還による収入	10,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△31,905	△131,250
ソフトウェアの取得による支出	△1,400	—
投資有価証券の取得による支出	△139,880	△80,688
出資金による支出	—	△23,769
関係会社株式の取得による支出	△20,000	△29,575
貸付けによる支出	△38,783	△390,685
貸付金の回収による収入	—	45,176
その他	18,253	21,406
投資活動によるキャッシュ・フロー	△263,894	△785,441
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△403,504	602,955
自己株式の取得による支出	△134	△102
配当金の支払額	△336,120	△374,673
その他	△25	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△739,784	228,155
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,670	△8,246
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△116,580	△878,099
現金及び現金同等物の期首残高	2,782,479	3,178,068
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,665,899	2,299,969

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。